

多層階のSCにおいて「吹き抜け」は重要な空間です。吹き抜けを「吹き抜けの機能(役割)」と「吹き抜けのタイプ」の観点から解説します(六車流：流通理論)。

(1) 吹き抜けの機能

SCにおいて吹き抜けは次のような機能を持っています。

①上層階への視認性の確立機能

吹き抜けは下層階から上層階の売場の存在性を顧客に視覚を通じて認識させる機能を持っています。

②異次元景色の創出機能

吹き抜けは1階から上方景色あるいは上層階から下方景色を見渡すことによる異次元空間を創出して、顧客に開放感のある人工景観を演出する機能を持っています。

③多目的なプレースの創出機能

吹き抜けの底地はイベントやレストスペース(休憩場)に利用し、顧客の感動と居心地の場を創出する機能を持っています。

④シンボル(象徴的)空間の創出機能

吹き抜けはSCの「中心である心臓(循環の中心)」を演出する場であり、顧客にここがSCのシンボルとなる空間を創出する機能を持っています。

このようにSCにおける吹き抜けは、上記の4つの機能を持ち、モールのタイプであるパーティカルモール(タテ型モール)、水平型モール(ヨコ型モール)、サーキットモール(周遊モール)によって吹き抜けが持つ機能のウエイトが異なります。

(2) 吹き抜け型から見たタイプ

①ホール型吹き抜け

ホール型吹き抜けはつりがね型空間あるいはドーム型空間とも呼び、通常のセントラルコート上空の空洞(がらんど)で形成されています。ホール型吹き抜けは丸型・四角型と色々ありますが、底地部分は多目的に利用可能な空間となります。

②アーケード型吹き抜け

アーケード型吹き抜けはモールの上空を吹き抜けにしたタイプであり、モール型吹き抜けとも呼びます。形としては長方形(モールの上空)となり、モールの機能のうちシンボル空間の創出機能は持ちませんが、上層階への視認性や異次元空間の創出、また多目的なプレースの創出機能は持っています。

③ギャラリー型吹き抜け

ギャラリー型吹き抜けはSC全体が大空間(大がらんど)で形成され、ホール型吹き抜けとアーケード型吹き抜けが一体化しているタイプです。

(3) 吹き抜けのあかりから見たタイプ

①自然光導入型吹き抜け

文字通り、太陽の光を導入し、自然光と吹き抜けが一体化したプレース(居心地感のある場)を創出した吹き抜けです。

②人工光導入型吹き抜け

自然光ではなく人工光による吹き抜けが一体化したプレース(居心地感のある場)を創出した吹き抜けです。

(4) パーティカルモールの回遊原則

タテ型モールの回遊性を高めるための「3つの効果」(回遊させる効果)があります。

①シャワー効果

上層階層へ顧客を集客させるシステムであり、導入する施設と得られる集客数によって効果が測定されます。

②噴水効果

一階あるいは低層階へ顧客を集客させ上層階へ波及させるシステムであり、導入する施設と集客数によって効果が測定されます。

③トランス効果

低層階と高層階の回遊導線上の中間地点において、低層階からの噴水効果を連結あるいはパワーアップし、また上層階からのシャワー効果を連結あるいはパワーアップする効果です。

(株)ダイナミックマーケティング社⁺³

代表 六車 秀之